

---

# 君の帰る場所

苺のタルト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君の帰る場所

### 【コード】

N5009M

### 【作者名】

葎のタルト

### 【あらすじ】

其れは

- 一人の少年の一生を見守り。
- 一人の少年に居場所を与え。
- 一人の少年に帰る場所を示した。

運命に流される人間と、其れを見続ける存在の物語。

(前書き)

運命とは何か

人は何処から来て何処へ帰るのか

ねえ、君は何処から来たの？  
ねえ、君は何処へ向かうの？

あの日、夢と希望に満ち溢れた瞳で私に問うた少年は、今どうしているだろうか。

この土地から離れることの叶わない私には其れを知る術は無いが、風の便りに少しばかり聞いた覚えがある。

同族同士、愚かな戦に明け暮れるこの時勢。

世界の作意も、世間の悪意も何一つ知らずに育った少年は

「……やあ、久しぶりだね」

低くなったのは声。高くなったのは背丈。  
残す面影は変わりなく。

緋く染まつた衣を纏い。

「本当は……こんな形で、君に逢いたくは……無かつたけれど……」

絶え絶えの言の葉。

膝をつく。地に臥す。

大地の渴きを潤す紅き雫。

青年の瞳を潤す透の雫。

「俺は……世界が憎いよ」

人を殺し。

人を殺し。

神をも手にかけて。

彼は知つたのだろう。

人の愚かさを。

運命の残酷さを。

「なあ……俺は……」

何処から来て。

何処へ向かう？

「君は」

青白き頬に手を伸ばし、少年の瞳を見下ろす。

運命に流された、憐れな仔よ。

私は君を救えるだろうか。

此処から来て。  
此処へ還る君を。

「そう……」

二度度開く事の無い瞳を閉じた君の姿は秀麗で。

「此処に逃げた筈だ！」  
「探せ！」

枯葉を踏みしめる足音。  
耳障りな声音。

「立ち去りなさい。愚かな仔等よ」

此処は彼の聖域。  
眠りを妨げる事は。許せない。

「おい、まずいぞ。此処は」  
「お逝きなさい。貴殿方が有るべき場所へ」

此処は、彼の還る場所。



(後書き)

呼んで頂きありがとうございました。  
感想等ありましたら宜しく願います。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5009m/>

---

君の帰る場所

2010年10月28日04時21分発行